

# 見学調査報告書

ゼミ名 : 渡辺 岳夫 ゼミ  
調査日 : 2022年9月19日(月)  
調査先 : 江戸川区陸上競技場  
授業科目名 : スポーツ・ビジネス・チャレンジ演習/実習  
参加学生数 : 18名(2年)、3名(3年)

## 調査の趣旨(目的)

本演習・実習では、学生が東京23FCというサッカークラブの試合におけるイベントプロデュースを主体的に行っている。具体的には9/20の江戸川区陸上競技場で開催される試合に向けて、各種のイベント企画の実現のために努力してきたが、今回の見学調査では、その江戸川区陸上競技場で実際にイベント企画の実習を行うことを目的とした。

## 調査結果

以上の趣旨に鑑み、今回は東京23FCのホームグラウンドである江戸川陸上競技場にて、実際にホーム最終戦におけるイベントプロデュースを学生が主体的に担った。具体的には、以下の通りである。東京23FCのホームタウンである江戸川区は金魚の養殖で全国的に有名だが、コロナ禍による祭りなどの中止の影響を受け、金魚の養殖業が衰退化している。実際に葛西地区で開催される例年数万人を集客する「金魚まつり」も中止になっている。そこで、そういった状況で伝統産業を支援するために、学生たちは試合前のイベントとして「金魚すくい」イベント企画を考案し、江戸川区、江戸川区養魚場組合などと連携して、実現させた。また、共生社会の実現に資するという目的のもと、パラアーチェリーの体験会も実施した。地元のアーチェリー製造企業、アーチェリーの販売業者、中央大学洋弓部と連携して、企画を成功させることができた。最後に、江戸川区は銭湯の数が多いことで有名だが、9月に営業中止する銭湯があることから分かるように、徐々に衰退化している。そこで江戸川区浴場組合、きらぼし銀行、江戸川区と連携して、銭湯利用者をスタジアムに送客し、スタジアム来場者を銭湯に送客する、いわば相互送客の施策を学生が考案し、これを実現した。

本年度の集客目標の3000人には届かなかったが、有料試合としては最大の2730人の集客に成功した。この経験により学生の課題発見能力、課題発見能力、および実行力が相当程度醸成されたものと思量する。



イベント終了後の集合写真(時折台風14号の影響を受け、  
びしょぬれになりながら頑張りました!)